



連谷地区大運動会 ～最後の運動会～

9月20日、全校生徒3名の児童に連谷校区住民約200人が参加、盛大に開催された。演目で、学区の園児3人と児童3人とのコラボによるダンスには、温かい声援が送られた。かつての連谷っ子マーチングバンドによるドリルには懐かしさが、連谷お助け隊による小隊訓練は小隊長の号令に隊員は忠実に行軍、あわや観客席に突入かと・・・、かつての仲間たちが集う良い機会となり、今後の連谷を担っていく2つの世代と校区民の絆が垣間見える、閉校の年ならではの住民参加型の大運動会であった。

千枚田の獣害被害

今年、イノシシの被害で棚田の百姓は泣かされた。奴らも年々巧妙になり、いくら旨い餌でも檻にやあ入らんし、電気柵はシビレてかなわんでゆつて、沢づたいに石崖を登ってトタンをぶち破り田んぼを荒らしまくりやあがった。ふんどうに、参っちゃった。



盆前から、毎晩九時に(舜)が、また、伸ちや夫婦も寝る前に必ずロケット花火や爆竹で脅しに出かけるが、毎晩入られる。イノシシとの知恵比べでは人間の方がやや負けぎみだ。奴らと一緒に今晩も学習能力か、ついつい出掛けてしまう。

棚田の八割近くの田んぼに被害を受けた。素晴らしいとか、癒されるとか、持て囃されて頑張る百姓の耕作意欲の消失に繋がりがかねない事態で、大変心配である。



連谷小学校の稲刈り

十月一日、児童三名は一年間、懇ろに育てた「鈴原糯」の稲刈りを行った。

脱穀は十三日に行い、十一月二十二日のふれあい教室(学芸会)で地域の方々をお招きしてお餅を食べていただきます。



こども農学校の稲刈り

九月二十日、JA 愛知東農協主催のこども農学校の稲刈りが、また、脱穀が十月三日に高橋庄一(顧問)の指導で行った。

豊橋調理製菓専門学校での脱穀

一年生四十名が実習田で田植え、田の草取り、稲刈り(長雨の影響で稲刈りはできなかったが稲の生育調

査などを実施)、脱穀までの過程を実習。また、行事ごとに地域料理の実習なども織り込み、勉学の場として取り組んでいる。

脱穀の作業 (10月8日)



この、育農体験学習には市役所鳳来総合支所地域整備課・観光課、本庁農業課、ふるさと・水と土指導員が協力している。

ほの国自然ソムリエ学校

自然環境の保全や再生を担うリーダーとなる人材の育成をめざし、東三河の自然に精通し、保全活動の中心になって行動できる人を養成することを目的に十月五日、東三河総局中西副知事を校長に開校された。

十月十日、第三回セミナー(受講生三十六名が「四谷の千枚田」と「サライの森」で開催された。四谷の千枚田では充実した景観・環境保全に目を輝かし、モリアオガエルやヤマアカガエルの再生を基に多様な生きものの自然再生、拡大、自然の摂理の事例などの話に興味深々、熱心にメモを取り、多くの質問が飛び出した。次回セミナーは十一月十五日、二十二日が予定されている。

豊橋キオスク会の視察

十月六日、豊橋駅構内の売店の会十一名が奥三河の歴史、文化遺産巡りを企画、千枚田を訪れた。



サミット参加

第二十一回全国棚田(千枚田)サミットが平成二十七年十月二十三日・二十四日、佐賀県玄海町を会場に共につたえよう美しく豊かな棚田(ふるさと)を未来へつなぐをテーマに開催される。

サミットには保存会から小山泰弘、今泉雅男、村雲伸一、原田英史、松下誠、高橋孝行、小山舜二が参加する。

エテ公は何処へ

この頃、サル姿が少ない。おかげで、例年になく甘柿も渋柿もやたらになつとる。なりやあ、なつたで「ズックウ」が汚いとござる。何にしても山に食い物がありやあ、嫌われてまで里に出てこん事が判った。

今後の予定

- ・十月十七日、ふるさとウォーキング
- ・十月十七日、「なまや朝大学」講座 山里の魅力創造しよう
- ・「先進地域の訪問で学ぶ」
- ・十一月七日、新城市環境講座 市文化会館
- ・十一月九日、ふるさと・水と土指導員連絡会議 岡崎市心のふるさと千方町楽校(旧千方町小学校跡地)
- ・十一月十五日、ソムリエ学校セミナー

行 平成二十七年十月二十日
鞍掛山麓千枚田保存会
発 文 責 小山舜二